

「心豊かで潤いと活力のあるまち」を目指して

平成17年度町長施政方針② 学校教育・情報政策

先月号に続いて6月定例議会で行われた岩田町長の施政方針演説の中から、学校教育、情報政策などについて要約してお知らせします。

今後も「心豊かで潤いと活力のあるまち」を目指して、町をあげて取り組んでいきましょう。

バス路線

仁多地域は仁多交通により幹線道路を結ぶ六路線、二十三系統の運行を行っており、横田地域はスクールバスと日ノ丸バスに業務委託し、三路線、二十一系統の運行を行い、それぞれ通学、通院やJＲ接続など住民生活の利便確保のため運行していますが、乗客数が減少傾向で厳しい経営状況で推移しております。今後、町民の交通手段の確保のため一層のサービス向上と経営の安定に努めて参ります。

また新しい町に二種類の路線バスが運行されることとなり、料金格差の是正をはじめ全町的な交通網の調整について、株式会社日ノ丸バスと早急に協議・検討したいと考えております。

地域のまちづくり

これまでコミュニティ助成事業あるいは、中間地域元気な集落事業として県の補助を受け、集落の広場整備やゴミ箱設置等のほか、町独自の事業として花づくり事業などの活動に対して支援して参り

ました。今回、合併を機にいきいきとした地域づくりを更に推進し、均衡ある集落づくりを図るため、自治会などの自主的な取り組みに対して「ふ

⑤ 活力に満ちた健康と福祉の町づくり

全ての町民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現を目指して関係機関と連携を図りながら積極的に町民の健康づくりを進めたいと考えております。

仁多地域では、平成十六年度から三年間、山陰では唯一、全国で十四市町村の中選ばれ、厚生労働省全額補助の国保ヘルスアップモデル事業（三年間・九千万円）を島根大学

るさとづくり事業」として町独自の助成制度を創設し、活力あるまちづくりを推進して参りたいと考えております。

医学部や仁多病院と連携を図りながら進めて参りました。この事業は、生活習慣病を予防するための効果的なプログラムを開発するモデル事業であり、多くの町民の皆さんの参加により成果を見ていくところでもあります。

また、これまで仁多地域では自治会ごとに二名の保健推進委員さんを、横田地域では一名の保健委員さんできめ細かな保健活動を実施していただいておりますが、合併により奥出雲町健康づくり推進委員会に統一し、先般第一回推進委員会を開催したところであります。今後、地域における

食生活を中心とした健康上の問題点やニーズに対応した地区組織活動を展開していく考えであります。

介護保険制度がスタートして五年が経ち、国においては急増する介護給付費の抑制及



▲自治会保健活動の様子

び介護予防強化に対処するため、平成十八年度からの実施見直しが検討されております。今後、介護保険制度を取り巻く情勢が厳しくなることが予想されますが引き続き介護サービスの充実に向けて参りたいと考えております。

子育て支援につきましては、子どもを産み、育てやすい環境を整え、少子化の流れを緩和していくため、現在策定しております「奥出雲町次世代育成支援行動計画」に沿って、「児童館」、「保育所」、「公民館」において放課後児童健全育成事業、子育て支援事業等を実施し、児童福祉の向上を図って参りたいと考えております。



▲健康調理教室の様子